

## 決算特別委員会委員長報告

ただいま議題となりました令和5年度神戸市各会計決算及び関連議案、合計24件について、委員会審査の経過並びに結果についてご報告申し上げます。

令和5年度決算は、社会保障関係経費が増加した一方で、景気回復による個人・法人市民税の増や、「行財政改革方針2025」に基づく取組みを着実に進めたことなどから、財源対策によることなく、15億1,400万円の黒字を確保しております。また、公営企業会計においては、新型コロナウイルスの影響により減少していた自動車・高速鉄道事業会計の乗車料収入は回復基調にある一方で、新都市整備事業会計において特別利益が減少したことなどから、当年度純利益合計は63億円の黒字となりました。

しかし、今後、長引く物価高騰の影響や、超高齢社会の進展に伴う社会保障関係費のさらなる増加が予測される中、持続可能な神戸市政の視点に基づいた施策を積極的に展開するとともに、人口減少社会にふさわしいまちづくりを進めていくことが求められております。

委員会は、去る9月24日に決算及び関連議案の付託を受けて以来、3つの分科会を設け、9月25日から10月4日まで局別審査、さらに9日には市長・副市長等に対する総括質疑を行いました。

それでは、委員会審査において議論となりました主な事項について、簡単にご報告申し上げます。

まず、市政全般に関するものとして、今後の財政運営、神戸空港の国際化、都心・三宮の再整備、ウォーターフロント再開発、行政手続きのスマート化、地域コミュニティ交通の推進、人材の市内定着などについて議論がありました。

次に、施策別では、「経済・産業・観光」に関しては、商店街・小売市場の活性化、国際コンテナ戦略港湾の推進、神戸医療産業都市の将来像、クルーズ客船の誘致、神戸登山プロジェクトなどについて、

「子育て・教育」に関して、産後ケア事業、病児保育や学童保育の充実、不登校児童生徒への支援、部活動の地域移行、保育・教員人材の確保や処遇改善、通学時の異常高温対策などについて、

「健康・福祉・環境」に関しては、フレイル対策、介護人材の確保、障害者施策の充実、ひきこもり支援、再生可能エネルギーの拡大、カーボンニュートラルの取組、クリーンステーションの管理運営などについて、

「安全・安心なまちづくり」に関しては、大規模災害時における停電対策、防犯カメラの設置、空き家・空き地対策、マンションの適正管理、街路樹の適正管理、地域活動の活性化に向けた支援などについて様々な議論がありました。

委員会では、このような審査の後、10月11日に意見決定を行った結果、大型開発への偏重、市民の暮らしへの支援、物価高騰への対応などを理由とする反対意見もありましたが、財源対策によることなく実質収支の黒字を確保したことを評価するとともに、人口減少社会において、将来世代が過度な負担を背負い込むことのないよう、未来を見据えた持続可能な自治体経営を行っていくことを期待して、令和5年度神戸市各会計決算20件は認定し、関連議案4件は原案どおり承認することに決定いたしました。

次に、委員会の要望事項について申し上げます。

まず、神戸空港についてであります。

神戸空港の国際化を契機に、より多くの人に利用していただき、経済の活性化につなげていくためには、空港機能のさらなる強化が必要です。

よって、神戸空港の国際化に伴うインバウンド客の誘致や、就航都市の企業・大学との連携・交流などにより、市内経済への効果が最大化するよう、中長期的なビジネス展開を図られたいのであります。

また、利用者増に対応できる利便性の高い空港となるよう、駐車場を含めた効果的な施設整備を遅滞なく進められたいのであります。

次に、防災力の強化についてであります。

発生が予測されている南海トラフ地震を始め、激甚化する自然災害へ対応するためには、阪神・淡路大震災から30年を迎える経験を生かした取組みが求められます。

よって、今後想定し得る大規模災害に備えるため、時代に沿った通信環境の整備を行い、停電時に充電や給電が可能な施設を増やすなど、災害対応力を強化されたいのであります。

また、女性の視点を取り入れた防災訓練の実施や、市街地消防団の車両更新について公費の投入を検討するなど、地域防災力の強化を図られたいのであります。

次に、学童保育についてであります。

子ども達の健やかな成長を守り、本市が将来世代から選ばれるまちになるためには、子育て支援策を充実させることが必要です。

よって、学童保育について、単位認定されるジョブ型インターンシップなどを有効に活用し、大学生や専門学生の参画を促すなど、保育人材の確保に努められたいのであります。

また、過密学童の解消や夏休みの昼食提供など、適切で魅力的な保育の充実に取り組まれたいのであります。

次に、部活動の地域移行についてであります。

子ども達の健やかな成長に大きな影響を与える部活動の役割を維持・発展させるためには、子ども達が地域の中で多様な活動に参加できる機会を確保することが求められます。

よって、部活動の地域移行について、途中経過の情報を適宜発信するなど、市民の理解を得られるよう努められたいのであります。

また、子ども本位で魅力ある仕組みを目指し、地域の受け入れ体制や人員・場所の確保を図るとともに、市民の文化・スポーツ活動がより一層活性化するよう取り組まれたいのであります。

以上、委員会審査の経過並びに結果及び要望事項についてご報告申し上げました。

終わりに当たり、委員会運営に終始ご協力をいただきました副委員長、理事の皆様、並びに連日熱心な審査を賜りました委員の皆様にご心から敬意と感謝の意を表しまして、報告を終わります。